

地形図のたのしみ

身近な地域の現在と過去を知るうえで、地形図は情報の宝庫です。普段あまり目にする事のない旧版地形図なども使いながら、地理的リテラシーの向上を図ります。

松山 薫 准教授

●出張講義分野

地形図にみる地域の姿、戦争と地域

●研究分野のキーワード

軍用地、戦争遺跡、満州開拓

●専門分野

人文地理学、歴史地理学(近代)

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://researchmap.jp/read0210861>



大学ではこんなことを研究しています

日本やドイツの、軍事施設や防衛施設の立地とその転用について研究しています。また、昭和初期の満州開拓について、青少年を含む多くの日本人が当時の満州(現在の中国東北部)に向かった背景を考えるために、戦後ほとんど忘れられてきた「日輪兵舎」という丸い変わった建物の研究をしています。

先生からメッセージ

「地域の役に立つ人間になりたい」という志をもつ若い人は多いのですが、そのためにはその地域の「中」だけを見ていては不十分です。日本、そして世界について広く知り、自ら出かけていってください。そうした過程を経て、初めて身近な地域の独自性や面白さ、将来性が浮かび上がってくるものです。地理学では、さまざまなスケールで地域や世界をみるトレーニングを行います。それによって「木を見て森を見ず」的な地域の捉え方から卒業することができるのです。

略歴 東京大学大学院総合文化研究科博士課程後期課程修了。博士(学術)。
2001年4月より東北公益文科大学講師。2006年4月より現職。